



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 令和3年度当初予算編成方針は

答 「人口減少対策」と「地方創生」に重点

また、町の最重要課題の解決には、スピード感を持った積極的な取り組み、さらには選択と集中による施策の展開が重要であることから、平成15年度以降続けてきた「一般財源枠配分方式」を取りやめ、各部署において

町長 令和3年度の編成方針は、今年度からスタートしている町総合計画・中期計画に基づき、町の最重要課題「人口減少対策」と「地方創生」とし、4つの重点プロジェクトで重要業績評価指標を設定し、設定目標値を意識しながら3つの基本目標の達成に向け、各部署において戦略的に諸課題の解決にあたることとしている。

予算編成について

議員 令和3年度当初予算編成はどのような方針で進めているのか。

町長 今回のクラスター感染の発生に伴い、保育園・小中学校・高齢者施設等においては、所管課

クラスター対策は

議員 クラスター発生に伴う保育園・小中学校・

高齢者施設現場での感染拡大防止対策を伺う。

町長 今回のクラスター



3年度予算要求の内容を各係から聞き取りする様子

との連絡を密にするよう指示をするとともに、保護者やご家族の方が少しでも不安を軽減できるよう、感染者やその関係者との接触事例の有無などを確認し、対応を進めてきた。特に、保育園・小中学校・高齢者施設等は、クラスター感染を引き起こすリスクが高いだけでなく、感染した場合、重篤化しやすい方の利用

も多いことから、引き続き、手洗い・マスク・三密回避、換気・加湿等の基本的な防止対策と、健康状態・行動歴の記録、多人数・狭小な会合等の回避などの徹底に努める。

手続きの見直し

議員 町行政手続きの「ハンコ」押印廃止の取り組みは。

町長 押印廃止に向けては、行政のデジタル化の推進が必要不可欠であり、この取り組みについても、今後、国の主導のもとで新たな動きが出てくることとなっている。こうしたことから、書面規制・対面規制などを含めた行政手続きそのものが大きく見直され、変革していく状況にあることから、今後の国の動向に注視するとともに、行政のデジタル化の推進に向け協議・検討を進めていく。



こんどう きよし 近藤 聖 議員

問 5階建てになった理由と経緯は

答 限られた面積で集約化を図った

新庁舎再設計について  
議員 新庁舎設計プランが当初計画から5階建てになった理由と、決定までの経緯を伺う。  
町長 多様な施設の集約化・集約化による複合施設として整備することで利用者の利便性の向上を図り、限られた敷地面積の中で、求められる施設の機能を可能な限り反映させるための設計プランである。  
葛巻町新庁舎建設基本計画を策定し「新庁舎建設検討委員会」による検討、関係団体や会議での説明、パブリックコメントの実施、町民・職員からの意見・要望を反映しており、町民からも理解をいただいていると認識している。  
議員 5階建てにすることによる景観上の問題は生じないか。また、高さ



新庁舎外観イメージ



からの圧迫感や威圧感を感じないか。  
副町長 法的な問題は無い。懇談会などの事前意見集約の際に高さに対する意見は出なかった。  
議員 図書館やホールを別棟にし、階数を減らす考えはなかったのか。  
副町長 建物の集約化・駐車場の確保・分署棟の高さ制限・コストなどから分散は難しく、必然的に5階建てになった。  
議員 商工会・信金の入舎で、まちなかの往来が減る心配はないか。  
政策秘書課長 庁舎用を済ませ、その後食事や買い物でまちなかに移動するなど、今まで以上に往来は活発になると考えている。  
工法の変更による影響は  
議員 SRC工法からRC工法へ変更した理由と設計や建物の安全性への影響について伺う。  
町長 設計プランを見直すだけでなく、事業費、建築業界の動向、部材類  
凍結などへの対策は  
議員 葛巻病院完成後、降雪による通行停止が発生したが、凍結や着雪など冬季の対策は万全か。  
町長 降雪・除排雪・路面凍結防止を想定した設計になっている。葛巻病院からの歩廊（連絡道）は屋根付きでロードヒーティングを設置する予定である。